



ふるさと

吉田 稔 筆

平成19年4月 No. **81**

●編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211

みんな元気 住んで良かった この地域

年末恒例 防犯パトロール



年末に多発が予想される街頭犯罪をはじめ、さまざまな犯罪の防止のため年末防犯パトロールを実施しました。

昨年12月27日、午後6時、地域内各町会（自治会）長と、防犯関係役員が、増尾駅前交番に集合。警察官から地域内の犯罪状況などの説明を受け、新柏地区、増尾地区、逆井地区に分かれてパトロールを実施しました。パトロールの過程で特に指摘事項はありませんでしたが、地区内の犯罪防止に効果があったと思います。昼間は増尾町会、加賀町会の防犯パトロールも実施されました。

今回のパトロールを参考に、いま各町会で実施している防犯活動をいっそう充実したものにしていきたいものです。

防犯防災部長 友野忠義

日本の中心は柏!

コミュニティリーダー育成事業 講演会に参加して

平成19年2月17日、柏市民文化会館で柏市ふるさとづくり協議会等連合会主催による講演会が開かれました。

当日の講師多田そうべいさん（元殿さまキングス）が登場すると場内300名の参加者から盛んな拍手喝采。

演題は「見直そう地域力・近所力」

「日本の中心はどこですか？」講師の問いに、参加者からはいっせいに「東京！」の声。一瞬の間があって講師「いや、これからは、そうした考え方を変えて、日本の中心は柏、と考えましょう。そうすることで、柏を良くしようとする気持ちがわいてきます」

これで場内の空気は一変。漢数字を使った四字熟語の出題にも活発なやり取りが。けっして答えは一つとは限りません。自分の周りには考え方の違う人がいて当たり前なのです。また、自分達が安心して暮らしているのは、目に見えない陰の力に支えられているのも事実です。ことに、防災となると、どうしても近所の力が必要となります。そのためにも「万一にかあったらお願いします」と言えるつきあいが大事なのは……。

頭を柔らかくして、みんなの知恵を出し合えばいくらでも住み良い町になるものです。「こども110番のステッカーが小さすぎて見にくい」との声があれば、のほり旗の大きさにしてもよいのでは……。また、夜間の一軒一灯運動を推進すれば、街灯のない町並みでも、不安が解消されるのでは……。子供達は暗い夜道で人家の明かり

が見えるとホッとするそうです。

「タンポポは命を咲かせる場所を選べませんが、皆さんは縁あって、柏を選び、住んでいるのですから、どうか安全安心な町づくりに努力してください」これが、この日の講演の締め言葉でした。

考え方の違う人々が集まって、わたしたちの町はできている。その違った考えを出し合えば、わたしたちの住んでいる町はすばらしい日本の中心になるにちがいありません。

最後に、昭和49年に300万枚を超えたヒット曲『なみだの操』を全員で熱唱し、会を終わりました。

どうしたら参加者は増えるのか

地区懇談会が開かれました

平成19年1月13日、地区懇談会が昨年に引き続き開催されました。

この会は、少子・高齢化を迎えて、だれもが安心して暮らせる地域にするには、どうしたらよいかを考える集まりで、増尾地域の町会長・自治会長、民生児童委員、健康づくり推進員、地区ボランティア等の団体の代表30名が参加しました。

今回のテーマは

- 地域活動に無関心な住民にどうすれば参加してもらえるか。
- 地域で活動できる方を発掘し、育成するにはどうしたらよいか。

の2点で、活発な意見が交わされました。

だれにでもできる活動が必ずあります。回覧板などのお知らせを参考にしてどうぞ皆さんもご参加ください。



私の町会・自治会だより



皆さんの町会・自治会について五十音順で、紹介していくコーナーです。

東武なかはら団地自治会

東武なかはら団地は土中学校に隣接して位置し、昭和53年に開発された73区画の小規模な住宅団地であり、自治会は昭和57年に誕生し、今日に至っております。

当時は、未就学児童や小中学生の人数も多く、子供達を中心としたハイキング、梨狩り、夏祭りなどのレクリエーションも盛んに行われておりました。

しかし、その後、当団地も歳を重ねるにつれ、子供達は成長して巣立って行き、子供達向けのイベントは減少し、現在では、年2回の草刈りと敬老の日のお祝い訪問、それに餅つき大会などが主な行事となっております。

少子高齢化の波は、例外なく当団地にも訪れ、かわって昨年4月に中・高齢者を対象とした「シニアクラブ」が発足しました。

「シニアクラブ」は、健康増進、教養向上、地域交流、奉仕などを目的として活動を行っており、相互理解と明るい健全な環境づくりに貢献しております。

これから、ますます高齢化が進むなかで、思いやりのある住み良い街づくりに「シニアクラブ」の存在は大きく、自治会の担う役割の推進役として、今後の活動が期待されるところであります。

会長 本田 敦士

イベント中心から ニーズに合った福祉活動へ



▲ 感心！納得！熱心に講師の話に聞き入る地区社協部のメンバー

少子・高齢化と、住民の意識多様化の時代を迎え、福祉に対するニーズも多岐にわたってきました。

こうした傾向を反映し、近年は、土地区社会福祉協議会にも、これまでの『敬老のつどい』や『地域ふれあいのつどい』などのイベント行事を中心にした活動から、支援を必要とする方々に、個々のニーズに合った地域主体の福祉活動が求められるようになってきました。

そこで地区社協部では、平成19年2月19日、福祉活動に先進的に取り組んでいる習志野市秋津支部社会福祉協議会を訪問し、活動の現況を視察してきました。

秋津支部の活動概要は次のようでした。

- ◎小学校の空き校舎を利用して、子供から高齢者、障害者を交えた「サロン交流会」

- ◎会員制の有料で、話し相手、掃除、整理、買い物、外出時の付き添い、洗濯、布団干しなどの「家事支援サービス」
- ◎市内在住の乳幼児とその母親による「子育て世代交流」
- ◎70歳以上の虚弱独居者と幼稚園児、小・中学校生徒を交えた「ふれあい食事サービス」

地域住民が子供から高齢者にいたるまで、福祉活動に関心をもち、実行している姿は、たいへん勉強になりました。今後、わたしたちの地区社協部の活動計画に生かしていきたいと思います。

地区社協部

まちじまん

仕事も踊りもまだまだ現役

増尾町会 笠松きくさん

増尾4丁目にお住まいの笠松さんは、長年にわたり、自宅の店番のかたわら、増尾ふるさと会館の鍵を預かって、管理事務を受け持ってこられました。

趣味と健康のために稽古を重ねてこられた日本舞踊。

昨年10月、アミューゼ柏で開催された発表会では最高年齢と紹介されていました。

今でも地域と家族のためにがんばっておられる笠松さんは、今年83歳になられます。

まだまだ現役、元気なおばあちゃん。



場内からは思わず歓声

熱唱！ 熱演！ 大喝采！ 芸能発表大会

地域住民のみなさんによる芸能発表大会が、平成19年3月4日、増尾近隣センター体育室で催されました。

カラオケ、フラダンス、日本舞踊、詩吟など51組151名が出演。きれいな舞台衣装で日ごろの練習成果を披露

して、満員の館内から拍手と声援が沸き上がりました。

最後は、小学生から大人までの総勢40名による『よさこい踊り』が舞台いっぱい躍動し、大会を盛り上げました。

地区社協部



▲ ほーれーで、ほーれーで……『哀愁列車』を熱唱する安藤さんは参加者の中で最高齢の92歳。まだまだ歌います

▼ 会場は『よさこい踊り』で熱気いっぱい



▲ フラダンスもレクダンスも、熱演

♥ 尊い命を助けよう！ 増尾近隣センターにAED 配備

平成18年8月、増尾近隣センターにAED（自動体外式除細動器）が配備されました。

AEDは、一刻を争う心肺停止者に対し、救急車が来るまでの間に、その場に居合わせた人が除細動（電気ショック）をすることで、救命率の向上を図るといふ機器です。

救急車が到着するまでの平均時間は約6分。この間に、除細動を行うか何もしないかでは、生存率が大きく変わってきます。操作は簡単にできるように設計されており、音声メッセージの指示に従って行えば、一般のかたでも安心して使用することができます。

万が一のときは、人工呼吸や心臓マッサージなどとともに、躊躇することなくAEDを使って大切な命を救いましょう。



▲ 増尾近隣センターに配備されたAED

ふるさと増尾 訪ね歩き

— 増尾城址公園 —

大津川の支流に面した台地上に築かれた中世の城址で、城主は千葉氏の流れをくむ相馬氏と言われている。現在でも高い土塁と深い堀が残り、当時の様子をよく留めている。城址の□の表示にそって進むと、周りに人工的に盛り上がった土塁に囲まれたくぼ地があり、城址の証しになっている。

現在では、西側に駐車場や運動のできる広場、バーベキューなどができる施設も整備され、管理事務所（04-7166-6701）に届けて市民が利用できるようになっている。

(増尾ダイヤモンドクラブ資料参考)



新春囲碁・将棋大会

新春囲碁・将棋大会が1月28日増尾近隣センターで開催されました。参加者は囲碁28名、将棋14名。囲碁の部は3組、将棋の部は2組に分かれて熱戦を繰り広げました。入賞者は次のとおりです。

●囲碁の部	優勝	準優勝	3位
(A組)	岡本 博	岡 和良	久慈勝男
(B組)	徳田 稔	森谷五郎	幸喜源松
(C組)	川崎速雄	奥村善広	鳶野俊之

●将棋の部	優勝	準優勝	3位
(A組)	寺澤国雄	木村 勝	桑門靖明
(B組)	山口 巧	森山 武	日暮孝雄

文化体育部

おめでとうございます

◎ 加賀町会長に柏警察署長より感謝状 ◎

加賀町会の和田誠会長は平成19年1月26日に柏警察署長より感謝状を授与されました。

和田さんは町会長に就任以来“安全安心の町づくり”をスローガンとして、積極的に町ぐるみの防犯活動を展開されてきました。この働きに対し、地域安全確保に努められたとして、このたび表彰されました。

◎ 柏市都市景観賞に輝く増尾の保田さん ◎

平成19年1月21日、アミュゼ柏において都市景観シンポジウムが開催されました。その席上、増尾の妙蓮寺前の道を「白壁通り」と名付けて応募された増尾8丁目の保田行弘さんが柏市都市景観賞を受賞されました。

この白壁通りは、本紙『ふるさと』でも紹介しましたが、増尾近隣センターからも増尾駅からも5分ほどの所です。みなさんもぜひ一度訪ねてみてはいかがでしょうか。

今年選挙の年

◎4月8日(日) 県議会議員選挙 ◎7月(日時未定) 参議院議員選挙 ◎8月5日(日) 市議会議員選挙

選挙当日、都合の悪い場合は、期日前投票または不在者投票ができます。棄権をしないで、投票しましょう。

柏市明るい選挙推進委員 佐藤秀哉・夏目琴美

太極拳サークル募集

講師 吉本真知子師範(香港呉式)
連絡先 ほのぼの会 鳥越令子
電話 04-7176-6751